

**【problem list】**

**#1 14年前に指摘され現在まで続く顕微鏡的血尿、尿沈渣で異型赤血球および赤血球円柱(+)、家族歴(+)**

- ・ 14年前、膀胱炎発症時に初めて指摘された顕微鏡的血尿。
- ・ 血尿は膀胱炎が治療された後も継続して認められ、現在まで続いている。
- ・ 尿中赤血球数は、通常 10~20 /HPF で、時に 100 /HPF を越えることもある。
- ・ 今回の検査では 20~50 /HPF。また、尿沈渣で異型赤血球および赤血球円柱が認められる。
- ・ 二人の姉妹にも血尿が認められている。また、兄は腎不全で亡くなっているが、痛風に対する鎮痛薬の投与による腎不全と報告されている。

**#2 軽度蛋白尿**

- ・ 顕微鏡的血尿と同時に、±~+の蛋白尿が認められていて、現在まで続いている。
- ・ 今回の検査では、尿中蛋白量は 160 mg/day (正常は 150mg 以下)

**#3 血尿・蛋白尿以外に、腎検査所見に異常なし**

- ・ 10年前に行われた超音波検査で、腎の大きさは正常、水腎症を認めず、腎結石も認めなかった。
- ・ 10年前の検査で、尿中に悪性細胞は認められなかった。
- ・ 再度施行された超音波検査で、右腎長径 9.3cm、左腎長径 9.4cm (正常範囲は 9.0~12.0 cm)。水腎症をみとめず、残尿も認められなかった。
- ・ 今回施行された血液検査所見で、血糖・電解質・腎機能・血清免疫グロブリン・蛋白分画は正常範囲内。また、補体・クリオグロブリン・抗核抗体・リウマトイド因子・尿中 Bence Jones 蛋白についても異常なし。
- ・ 尿検査所見では、尿量 1600 ml (正常値は 1000~2000 ml)、尿中総クレアチニン 1152 mg/day (正常値は女性で 0.5~1.5 g)。

**#4 繰り返す膀胱炎**

- ・ 14年前に膀胱炎を発症。それ以降、毎年数回膀胱炎を繰り返していた。
- ・ 10年前、尿路感染症の再発予防のために nitrofurantoin を投与された。
- ・ ここ 3年間は再発はみられない。

**#5 尿道狭窄**

- ・ 14年前に行われた経静脈的尿路造影 (IVP) で、尿道狭窄が認められた。

**#6 高血圧**

- ・ 2度目の出産後に軽度高血圧となり、その後の3年間は収縮期血圧 120~140 mmHg、拡張期血圧 70~96 mmHg で推移していた。
- ・ 今回入院時の血圧は 138 / 88 mmHg。5週後の計測では 100 / 60 mmHg、8週後の計測では 110 / 60 mmHg。
- ・ 現在、lisinopril 5mg/day (ACE 阻害薬) 服用中。

**#7 妊娠糖尿病、妊娠高血圧腎症**

- ・ 初回の妊娠時に妊娠糖尿病を発症したが、食事療法でコントロールされた。
- ・ 初回の妊娠時に妊娠高血圧腎症を発症し、血圧は 150 / 95 mmHg 程度となった。
- ・ 誘発分娩となったが、分娩は問題なく行われた。

**#8 甲状腺切除後**

- ・ 13歳時、甲状腺腫に対して甲状腺切除術を施行された。
- ・ 現在、levothyroxine 0.125 mg/day (甲状腺ホルモン) 服用中。

**#9 生活歴**

- ・ フィリピン人。26歳時に米国に移住。職業は看護婦。

**#10 血尿・腎不全以外の家族歴**

- ・ 父親：脳卒中 (72歳で死亡)、高血圧 / 母親：糖尿病 / 姉妹 (二人)：一人が高血圧、もう一人が甲状腺腫